

トチノキ

トチノキ科 トチノキ属 (落葉高木)

学名 : *Aesculus turbinata* 英名 : Japanese horse chestnut



花



掌状複葉

やや波状の鋸歯

手のひら状の1枚上の葉



樹脂  
べとべと

・葉：掌状複葉、小葉は狭倒卵長だ円形で5~7枚

先端は急に尖る、ふちはやや波状の鋸歯

裏の葉脈上に茶色の毛、長い葉柄、対生、

・幹：樹皮は灰褐色、老木は大きな厚い片となり、はがれる

・花：白色で基部は淡紅色、5~6月開花

・実：茶色く、丸い、トチノミ（ドンダリのようにとがらない）

・冬芽：枝の先端に長卵形で鋭く尖る頂芽を1個、側芽は対生、粘りのある樹脂がつく、  
頂芽は側芽より大きい、8~14枚の芽鱗、葉痕は大きな心形または腎形

茶色の毛



冬芽

心形



・七飯の大柵